介護保険サービス・障がい者福祉サービス分野

事業名	事業説明（実績・結果）

㉝訪問介護

（１）新規の依頼が続き、利用者数、訪問回数が増加した。また、サービス利用については、午前８時からを希望される利用者が多く、職員の勤務体制を整えることが難しい状況であった。

（２）ヘルパー職員の産休・育休により不足する人員を11月から他の部署からの異動で対応し、利用者へ影響がないよう努めた。

（３）利用者の状態の変化によるサービス計画の変更については、早く対応し、利用者や介護者、そして他のサービス事業所との連絡体制を構築した。

（４）月に１回職員研修を実施し、資質向上に努めた。

・請求額状況　（単位：千円）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5	2,552	2,845	2,710	2,748	2,535	2,974	3,091	3,038	2,927	2,829	2,877	2,938	34,064
令和4	2,549	2,682	2,637	2,440	3,138	3,113	2,921	2,919	2,842	2,429	2,514	2,476	32,660

・介護度別利用者人数　（単位：千円）

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援１	10	11	10	10	10	11	4	10	10	10	2	0	98
要支援２	20	27	15	12	12	6	6	16	10	13	24	20	181
要介護１	122	161	161	174	173	181	173	184	182	167	147	155	1,980
要介護２	83	111	99	88	66	91	115	107	115	129	149	126	1,279
要介護３	213	224	215	269	192	210	225	226	234	222	222	255	2,707
要介護４	39	53	52	47	55	35	47	47	45	47	40	53	560
要介護５	95	110	93	65	110	122	162	144	107	97	102	103	1,310
合計	582	697	645	665	618	656	732	734	703	685	686	712	8,115
令和４年度計	620	668	642	576	704	747	676	704	686	593	614	587	7,817

㉞障がい児者訪問介護

（１）新規の利用は3名で、利用状況については、多くが30代から40代であった。サービス提供にあたっては、定期的な入浴を希望する方、オムツ交換や清拭等で毎日サービスを利用される方も数名いた。

　また、大柄な利用者が多いため、ヘルパー職員の2人派遣を実施しているケースが多数あった。

（２）月に１回職員研修を実施し、資質の向上に努めた。

・請求額状況　（単位：千円）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5	1,805	1,933	1,955	1,789	1,803	1,958	2,016	2,009	1,975	1,955	1,964	2,036	23,198
令和4	1,573	1,626	1,465	1,554	1,659	1,685	1,885	1,667	1,697	1,719	1,787	2,039	20,356

事業名	事業説明（実績・結果）

㉞障がい児者訪問介護

・障がいサービス別総人数　（単位：千円）

支援項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	294	340	340	311	310	328	350	337	330	320	323	332	3,915
家事援助	87	103	104	79	70	106	103	124	131	116	94	131	1,248
合計	381	443	444	390	380	434	453	461	461	436	417	463	5,163
令和４年度計	364	416	375	391	424	418	410	410	402	402	402	594	5,008

㉟通所介護

（１）近隣市町の事業所からデイサービスの運営やサービス提供方法などの視察を受け入れた。

（２）法令に定められた研修を10回行った。

（３）利用者の増加に伴い運動スペースを拡張するため、テーブルの配置や事務所の器具類の配置を見直し、安全に訓練できるよう対応した。

（４）笹尾西2丁目のシニアクラブ「健白会」に職員2名を講師として派遣し、リズム体操などのメニューを提供して、身体を動かす訓練指導を行った。

（５）麻雀や傾聴地域ボランティアを受け入れ、地域の方とのふれあう時間をつくることができた。

（６）ヒヤリハットの事例を収集するため、共有フォームを作成し職員がいつでも入力ができるようシステムを構築した。

（７）車両や備品等の経年劣化による故障等が多くあったため、利用者の安全を確保するため、機器の入れ替えを行った。

（８）必要な研修を受講させ職員の資質向上に努めた。

・請求額状況　（単位：千円）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5	8,268	9,265	8,984	8,746	8,330	9,035	9,182	9,165	9,477	8,018	8,537	9,449	106,456
令和4	8,267	8,820	8,714	8,588	8,967	9,099	9,324	9,210	8,596	6,880	8,573	8,612	103,650

・介護度別利用者人数　（単位：千円）

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	25	26	28	36	32	24	18	17	8	15	17	19	265
要支援１	4	8	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	55
要支援２	14	14	14	22	14	17	19	25	27	19	27	27	239
要介護１	201	222	207	241	217	198	212	222	215	202	235	242	2,614
要介護２	250	271	263	252	254	248	279	242	273	211	211	230	2,984
要介護３	130	160	126	112	105	134	128	153	153	119	136	165	1,621
要介護４	121	141	156	146	149	149	148	143	146	132	114	131	1,676
要介護５	37	37	29	23	32	38	43	56	47	46	54	56	498
合計	782	879	830	836	807	812	851	862	873	748	798	874	9,952
令和４年度計	790	827	821	817	848	852	860	854	811	639	754	817	9,690

（注）事業対象者とは、基本チェックリストの結果、心身機能の衰えによる生活機能の低下がみられると町が判定した方

事業名	事業説明（実績・結果）

㊱日中一時支援

重度の障がいのある利用者について、障害者総合支援法の地域生活支援事業である日中一時支援を行った。利用者は、身体介助やコミュニケーションの取り方が難しいため、支援方法を職員で共有し誰もが対応できるように努めた。

・日中一時支援利用者状況　（単位：人）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5	12	8	8	11	8	11	8	8	9	8	6	9	106
令和4	18	16	16	20	20	14	19	16	7	8	8	9	171

㊲居宅介護支援

居宅介護支援にあたっては、利用者等の意向等を勘案しながら日常生活の支援やサービス利用計画を作成した。

（１）地域包括支援センター、第二地域包括支援センターからの要支援者の予防プラン作成を積極的に受託したことで、要支援１、２と要介護１の利用者数が増加した。要支援から要介護になっても継続的な支援に努めた。

（２）利用者が住み慣れた場所で最期まで暮らせるように医療職と連携しながら支援を行った。また、要介護度が上がるにつれて、施設入所になるケースが多くなった。

（３）高齢者夫婦、認知症独居、虐待などに加え、介護者への支援が必要なケースとして、介護者が精神疾患、引きこもり等が多くあった。そのため、地域包括支援センター、第二地域包括支援センター、行政など、多職種との連携を行い適切な支援に努めた。

（４）11月から常勤職員が1名増員し、常勤5名、臨時1名の体制になった。

（５）個々のケママネジャーの質を向上させるために、研修会や会議などへ積極的に参加するとともに、居宅介護支援事業所内においても定期的にミーティングを行い、各ケースの共有や課題解決に向けた検討を行った。

（６）ケアマネジャーの実習生を受け入れ、ケアマネジメントのプロセスの各場面を見聞させるとともに適宜のアドバイスを行った。

・請求額状況　（単位：千円）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5	2,148	2,231	2,365	2,326	2,352	2,482	2,359	2,437	2,535	2,490	2,430	2,433	28,588
令和4	2,243	2,186	2,295	2,154	2,152	2,087	2,189	2,224	2,100	2,106	2,180	2,290	26,206

・介護度別利用者人数　（単位：千円）

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	20	18	17	18	16	18	17	20	21	24	26	24	239
要介護１	36	37	40	41	44	45	45	44	43	39	41	43	498
要介護２	37	38	43	40	39	43	42	36	36	37	37	36	464
要介護３	24	22	23	22	22	22	22	26	28	27	26	27	291
要介護４	17	16	17	18	18	18	17	17	18	20	17	16	209
要介護５	6	8	7	8	8	10	9	10	12	11	10	10	109
合計	140	139	147	147	147	156	152	153	158	158	157	156	1,810
令和４年度計	139	137	141	134	134	131	137	139	133	132	136	141	1,634

事業名	事業説明（実績・結果）
㊲居宅介護支援	(注)「総合事業」とは、介護予防・日常生活支援総合事業として要支援認定を受けた方及び基本チェックリストで事業対象者と認定された方が利用するプラン作成のこと。

㊳障がい者・障がい児計画相談

基幹相談業務は受託

障害福祉サービスや基幹相談業務を通して、障がいのある方等への日常生活の支援を行った。

（１）子どもをとりまく問題は、家族背景など多岐にわたり、幅広い知識が必要であるため、各種研修を受講した。

（２）事業所と共に、サービス担当者会議や学校での個人懇談会などに出席し、課題解決に積極的に取り組んだ。また、多くの経験と知識により、障害福祉サービス事業所からの困難事例等にも対応できるようになってきた。

（３）障害福祉計画の策定会議に参加し、障害福祉サービスの課題（放課後等デイサービスや就労支援事業所の選択肢の不足）を報告した。

（４）障がい者自立支援協議会の実務者会議で個別の支援計画を相談したことで、利用者の課題の解決につなげることができた。

・相談支援利用者数　（単位：人）

区分	実人数	障害の種別							
		身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障	その他	合計
障がい者	36	11	3	17	7	0	0	0	38
障がい児	38	0	3	9	2	25	0	0	39

注、障害は重複する場合があるため、種別の合計は実人数と一致しません。

・相談支援の方法

支援方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	戸別支援会議	関係機関	その他	合計
支援件数	295	105	10	435	55	8	1,473	447	2,828

・計画相談月別実績（障がい者）　（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
更新	2	1	1	2	2	1	4	0	3	2	1	8	27
変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ	4	4	9	7	5	12	2	6	4	6	7	4	70
合計	7	5	10	9	7	13	6	6	7	8	8	12	98
令和４年度計	5	3	8	4	6	13	6	3	7	7	8	14	84

・計画相談月別実績（障がい児）　（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	0	3	0	1	2	1	0	0	0	0	0	8
更新	4	1	2	4	1	4	3	5	3	1	2	4	34
変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ	4	6	5	4	4	6	6	8	5	6	5	7	66
合計	9	7	10	8	6	12	10	13	8	7	7	11	108
令和４年度計	7	7	6	6	2	4	6	7	5	5	3	11	69

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業説明（実績・結果）</th></tr>
<tr><td>㊴短期集中訪問型サービスC
町受託</td><td>町からの受託事業である短期集中訪問型サービスCの事業は、ケアマネジャーからの依頼はなく、事業の実施はなかった。</td></tr>
<tr><td>㊵地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ活動支援事業
町受託</td><td>地域ケア会議へアドバイザーとして理学療法士を8回派遣した。なお、地域で行なわれる介護予防の指導者派遣については、町から依頼はなく、事業の実績はなかった。</td></tr>
<tr><td>㊶短期集中通所型サービスC
町受託</td><td>町からの受託事業である短期集中通所型サービスCの事業はケアマネージャーからの依頼はなく、事業の実施はなかった。</td></tr>
<tr><td>㊷通所型サービスB事業</td><td>コロナウイルス感染症による開催中止も無く1年通して開催することができた。また、体操関係メニューでは中級、上級と別れて誰もが参加しやすいよう改善した。
運動後の休憩時間は、カフェらしく利用者間の交流が盛んになり、活気にあふれていた。
・利用者人数　（単位：人）
<table>
<tr><th>年度</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>令和5</td><td>66</td><td>84</td><td>75</td><td>82</td><td>66</td><td>91</td><td>68</td><td>87</td><td>80</td><td>46</td><td>99</td><td>103</td><td>947</td></tr>
<tr><td>令和4</td><td>47</td><td>43</td><td>65</td><td>46</td><td></td><td></td><td></td><td>49</td><td>48</td><td>39</td><td>59</td><td>54</td><td>450</td></tr>
</table></td></tr>
</table>